

がん情報ギフト「結ぶ」事業のねらい
～がん情報ギフト寄贈館がもっと知られ、活用される場になるために～

国立がん研究センターがん対策研究所 がん情報提供部
八



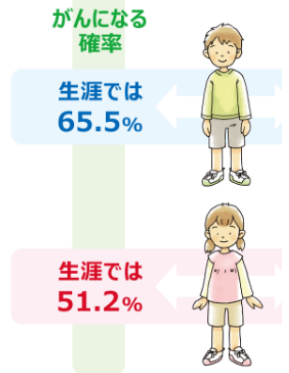
2023年2月16日
がん情報ギフト「結ぶ」事業 実施報告会

- ✓ 生涯でがんと診断される方は、2人に1人
- ✓ がんの5年生存率は64.2%

- しかし、世論調査(平成28年)では、
- 2人に1人はがんにかかると思う人は**31.3%**
 - 5年生存率が50%を超えていると思う人は**29.5%**
- ➔ **がんは稀な珍しい不治の病**

- がんと診断されて、頭が真っ白
- 慌てて仕事を辞めてしまう...

身近なところで信頼できるがん情報を得られることが大切



がん診療連携拠点病院などは全国に453か所指定

- 誰でも相談できるがん相談支援センター設置
- がんの冊子を配布

一方、情報が届かない人もいる

- 空白の医療圏60か所
- 病院を訪ねるのは、抵抗感を感じる
- インターネットを使えない

もっと、身近なところで情報をえることができないか？

医療・行政・公共図書館との連携の魅力

医療機関からみると...



元気な人が生活の中で来る場所・医療に無関心な人も。

⇔ 病気になって初めて訪れる病院

・小さな町村にも

⇔ 基準を満たすがん診療連携拠点病院は偏在

・社会教育施設としての様々な可能性

⇔ 医療機関でできることの限界

図書館からも...



・扱いづらい医療情報についての方針を整理する場

・レファレンスで答えられない医療や病気についてのリファー先の確保

“がん情報発信基地”としての図書館をめざして ～「がん情報ギフト」事業の展開～



国立がん研究センターは、皆さまからのご寄付で「確かな・わかりやすい・役立つ」がん情報をつくり、全国の図書館などにお届けするキャンペーンを行っています。ぜひご協力ください。

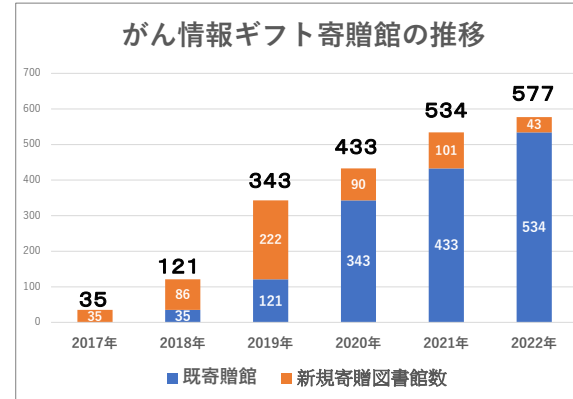
国立がん研究センターがん情報サービス ganjoho.jp



- **スタート**：2017年7月
- **目的**：「すべての人が、必要なときに、信頼できるがん情報を得られる社会」を目指したプロジェクト
- **取り組み**：①がん情報を「つくるを支える」
②がんの冊子を寄贈品として全国の公共図書館等に「届けるを贈る」
- 「がん情報ギフト」寄贈館数：577館（*2023年2月現在）

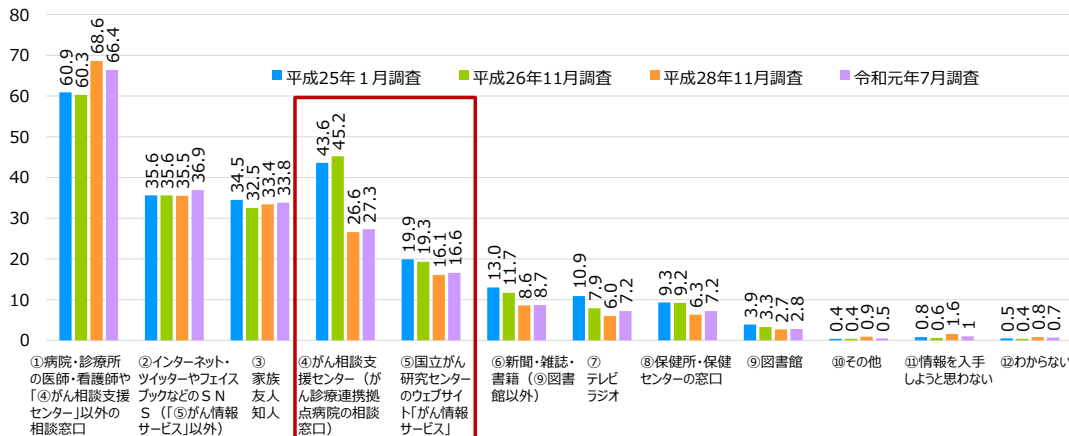
全国の情報発信源として存在感のある仲間を面としての広がりへ

がん情報ギフトプロジェクト 2017年8月～ 累計450件、2000万円を超える暖かいご寄付を賜りました。



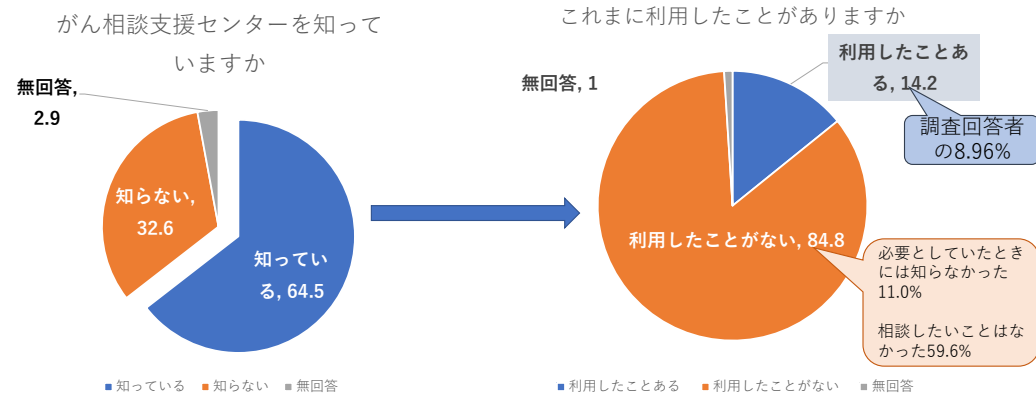
がん対策・たばこ対策に関する世論調査 がんの治療法や病院に関する情報源

問 あなたは、がんと診断されたら、がんの治療法や病院に関する情報について、どこから入手しようと思いますか。この中からあてはまるものをいくつでもあげてください。（複数回答）



※内閣府による調査。年によって質問項目の設定が若干異なる

がん診療連携拠点病院で治療を受けた患者さんのがん相談支援センターの認知度



患者体験調査 平成30年度調査
https://www.ncc.go.jp/jp/cis/divisions/health_s/H30_all.pdf

相談員自身が感じる がん相談支援センターの周知・アクセスの課題

- 相談室の場所がわかりにくい、立ち寄りにくい場所にある
- 利用のハードルが高い(平日日中のみしか利用できない、入りやすさの雰囲気)
- 本人が困っていると声を挙げなければ相談につながらない、医療者がニーズを十分に拾い上げられていない、がん相談支援センターとの連携が不十分な診療科・部署がある、がん相談支援センターの院内周知が不十分
- がん相談支援センターがどんな相談ができる場所なのかについての周知が不十分、AYA・妊孕性などの相談ができることが知られていない。
- 多重な困りごとのある人の継続的な支援ができない(主介護者が患者である場合、患者の家族が認知症や精神疾患あるが家族外のケアの必要性を受け入れられない場合等)
- 地域住民、市民へのがん相談支援センターの周知が不足している

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会からの提案書 参考資料1
https://ganjoho.jp/med_pro/liaison_council/bukai/index.html

「がん情報ギフト」の取り組み



寄贈館が起点となった場・活動・価値を生み出すお手伝い

- 新規館への寄贈
- 既寄贈館への対応
 - 配布用冊子・ちらしの補充
 - 新規作成冊子・ちらしの追加配布
- がん情報ギフト連携プロジェクト
 - 「がんを身近に考える」図書展示キットの巡回
 - 図書館・がん相談支援センター連携ワークショップ
 - がん情報ギフト結ぶ事業

がん情報ギフト「結ぶ」事業

「がん情報ギフトセットがある」だけでなく、
 様々な関係者を結んだ拠点として、住民の皆さんに活用される場所へ



本日は応募3企画、推薦2企画、合計5つの取り組みを紹介させていただきます。